

とき わす ▶あの時のことを忘れないために



ちいちゃんのかげおくり

作:あまんきみこ 絵:上野紀子 あかね書房

お父さんが出征する前の日のことです。先祖のお墓参りに行った帰り道、ちいちゃんのお父さんは家族に「かげおくり」の遊びを教えてくださいました。影法師をじっと見つめて10数え、数え終えたらすぐ空を見上げると影がそっくり空に映って見えるというのです。ちいちゃんとお兄ちゃん、お母さん、お父さんは4人で「かげおくり」をしました。その後、お父さんは戦争に行き…。

このお話は、国語の教科書にも載っており、子どもたちも学習をしている絵本です！

へいわってすてきだね

詩:安里有生 画:長谷川義史 ブロンズ新社

「へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎののんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。へいわっていいね。へいわってうれしいね。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。…(略)」

当時、小学校1年生の安里有生さんがかいた詩をもとにつくられた絵本です！



伸ちゃんのさんりんしゃ

作:児玉辰春 絵:おぼまこと 童心社

1945年、3歳の伸一は、隣のみみちゃんと絵本の中の三輪車を見るのが大好きでした。食べるのがやっとの戦争中、三輪車を買うことなどできるはずがありません。しかし、ある日のこと、入隊するおじさんが古い三輪車をもってきてくれました。大喜びの伸一ときみちゃんは、8月6日の朝も、三輪車で仲良く遊んでいました。すると、そこで…

広島県にある、広島平和資料館のなかに、実際に展示されている三輪車の話がかかれた絵本です！



原子爆弾が投下されたときやその後の状況、沖縄戦の状況など、今もあの時の悲惨さを忘れないために、絵本でも語り継がれています。小学校でも、8月6日に絵本を使って学習をしています。その絵本をいくつか紹介で載せています。あのときのことを忘れず、同じ過ちを繰り返さないためにも、私たちも子どもたちと一緒に学びを深めていきたいです。ぜひ、子どもと一緒に読んでみたり、話してみたりしてください。